



ThreeBond

ニトリレディスゴルフトーナメント 申ジエプロ優勝レポート

8月24日(木)→8月27日(日) 小樽カントリー倶楽部(北海道)



申ジエ
1988年韓国生まれ。
韓国・米国にて賞金
女王獲得。
現在日本女子ツアー
賞金女王を目指し
活躍中。

Par And Yardage

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Yards	406	354	388	142	373	492	163	358	502	3,178	6,548
Par	4	4	4	3	4	5	3	4	5	36	72
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Yards	549	411	185	498	312	404	447	157	407	3,370	
Par	5	4	3	5	4	4	4	3	4	36	

<初日>

得意の洋芝、国内LPGAツアー屈指の難コース・小樽CCでの大会。前週のイ・ボミの今季初優勝を見て「私も勝ちたい、と強い気持ちになりました」と初日を迎えた。予選ラウンド2日間は若林舞衣子、高木萌衣とのペアリング。10番からスタートして、15番パー4でバーディーを先行したが、選手の一部が「あそこはパー5だと思ってプレーする」と話すほど難しい16番・447ヤードのパー4でボギーを献上。しかし17番パー3で再びバーディーを獲り返して、1アンダー35でハーフターンのスタート。「インコース9ホールでフェアウェイキープできたのが一つしかなかったんです。それでも16番以外はパーセーブすることができた。自信になりました。集中力も上がったし、きっと明日以降につながると思います」と話し、後半アウトコースは3バーディー、1ボギー。トータル3アンダー69で、首位と2打差、6位タイの好スタートとなった。「ラフがきついけど、やっぱり洋芝は好きですね」。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	—	—	○	△	○	—	—	○	-2	69
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	—	—	—	—	—	○	△	○	—	-1	(-3)

<二日目>

スタート1番ホールで残り165ヤードをロフト23度のユーティリティーでピン左3メートルにつけて幸先よくバーディー発進すると、続く2番でも150ヤードを7番アイアンで左4メートルにつけ、連続バーディー。9番パー5では残り55ヤードの第3打をピンそば50センチに。「風はいつも私の友達。今日は朝から風が吹いていたので、うれしい気持ちでスタートしました。とても仲良くできましたね。それに、ここはコンディションの良い洋芝だから、ドロウ、フェードと自分の思い描くショットが打てた。不安感が低くなりました」と波に乗り、インコースへ折り返しても10番で5メートル、12番でも5メートルを沈め、14番では9番アイアンでの第2打をピン奥50センチにピンタリと止めた。16番では44ヤード残した第3打を60度ウェッジでこれまた50センチに寄せて見事なパーセーブ。最終18番パー4でも150ヤードを7番アイアンでピン手前2メートルにつけて、獲りも獲ったり7バーディー。トーナメントコース記録を1打更新する65で一気に単独首位に躍り出、2位に3打差をつけた。

「後半インコースのパット数は10。前半も14だし、よかったです。ドライバーショットも力を抜いてリズムを意識して、今日はフェアウェイをミスしたのも2回だけ。グリーンもほとんど外さなかった。ピンチは16番ぐらいで、でも乗り越えることができましたし、18番も難しいホールだけど、砲台グリーンに向かってちょっと高い球を打ってボールを止めました」。前夜は偶然見つけた黒毛和牛のヒレステーキ専門店がスタミナをつけたそうで「大当たりのお店でした。4日間大会は体力勝負。美味しいものいっぱい食べて頑張ります」と話した。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	○	○	—	—	—	—	—	—	○	-3	65
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	○	—	○	—	○	—	—	—	○	-4	(-7)

<三日目>

最終組でスタートした3日目は6、7番で連続バーディーを先行したが、8番でボギー。10番でバーディーを追加したものの、13番からバーディーとボギーを繰り返して、結局5バーディー、2ボギー70の一日になった。「今日はちょっと行ったり来たりありましたけど、アンダーパーで終われてよかった。昨日のようにいいスコアが出た次の日は悪いことも多いので、今日は我慢が大事だと思って、集中力をキープしていくことに注意していました」と話し、2位との差は3ストロークのまま最終日へ。

「今日はドライバーショットのミスも4回ほどありましたが、全部同じ左へのミスだったので、それは修正できると思います。17番でボードを見て、ベイブ・リュウにコースレコードを一日で更新されちゃったと知りました(苦笑)。…でも明日また18ホールあるので、さらに更新できるように頑張りたいです。明日はもっと風が吹いてほしいですね。久しぶりのこの位置。明日は本当に優勝したい。コースマネジメントも大事だけれど、自分のゴルフだけに集中していくことだと思っています。今年4月のスタジオアリス女子オープンでテレサ・ルーに逆転された時の教訓で、難しいコースだからといってあまり守ってしまってもダメかなと。一生懸命頑張ります！」。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	—	—	—	—	○	○	△	—	-1	70
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	○	—	—	○	△	○	△	—	—	-1	(-2)

<四日目>

前日までのゴルフ内容から、独走Vを予想する声も多かったが、ラウンド中盤までは苦しい展開に。2番でボギーを先行すると、6番パー5でバーディーを獲り返したものの8、9番でまさかの連続ボギー。12番パー3でもボギーを献上し通算9アンダー、13、14番で連続バーディーを決めたベイブ・リュウに並ばれた。

しかし、ここからが元世界ランク1位、全英女子オープン覇者の実力を見せつける“バックストレッチ”だった。迎えた最難関16番パー4。「セカンドはピンまで220ヤード。狙うかレイアップかで迷ったけど『このホールが勝負』と思って。3番ウッドで攻めました」。グリーン左奥のバンカーに入ることも想定内のマネジメントで放ったナイスショットだったが、ボールは運悪くバンカー直前のラフに止まった。スタンスは左足だけバンカー内で打ち上げの17ヤード、グリーン面はピンに向かって下り坂。ギャラリーが固唾をのんで見守る中「60度ウエッジでアーリーコックして、大きいスイング。バンカーショットのようなイメージで、やわらかい球を。リズムだけ気をつけて打ちました」というロブショットは、まさに“世界の技”だった。カップ手前2メートルに止めて、奇跡のパーセーブ。ここでベイブ・リュウはボギーを叩き、事実上の勝負がついた。

1打差で迎えた最終18番では「きっちり寄せてパーセーブしよう」と打った17メートルの長いバーディーパットがカップに吸い込まれ「ビックリして、思わずバンザイしてました。難しいホールで、パーオンしてただけでもよかったと思ったぐらいだったのに…。ゴルフは本当にわからないと思いました。面白いです」と、最後は2打差、最終日は74だったが大会レコードを3打更新する通算10アンダーでの今季初勝利となった。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	△	—	—	—	○	—	△	△	+2	74
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	—	—	△	—	—	—	—	—	○	±0	(+2)

<優勝コメント>

「今年は優勝できないんじゃないか、そう思ったこともありましたが」。昨年11月の樋口久子・三菱電機レディース以来の日本ツアー通算16勝目に、今季前半戦の苦悩を初めて明かした。シーズンオフに風邪をこじらせたことから始まった、全身の関節痛。韓国、日本の大学病院を回って検査を繰り返して、リュウマチの可能性を示唆されたこともあったが、病名はつかずじまい。ステロイド系の薬を服用しながらの苦しい闘いを続けていた。「開幕戦から3試合をお休みしてのシーズンイン。体が思うようにならず、春先は正直18ホール回るのにも体力、集中力が持たなかったです。でも周りの方々にたくさん心配していただいて…早く元気にならなきゃと思って頑張った。今はもう薬も飲まずに大丈夫です。でも、優勝することがすごく難しいことなんだと初めて感じたシーズンでもありました」。

しかし、この優勝で完全復活。今季賞金ランクも前週までの11位から5位に急浮上し、日本ツアーでの生涯獲得賞金も6億円を突破した。「今年は日本のLPGA創立50周年。その大事な節目のアワード(年間表彰式)に行けないんじゃないか、行けなかったらさびしいなあ、と思ったりしてました。これで出席できますね。よかったです。今週、千葉県県の浜野GCで『申ジエ&スリーポンド ジュニアトーナメント2017』も開催します。いい報告を持ってジュニア達に会えるのもうれしい。今週は神経も体力も使って、一週間で体重が2キロも減っちゃったけど、9月からの終盤戦はメジャー大会も3つありますし、もっとトレーニングして美味しいもの食べて、いい準備をして頑張りたいと思います」と語った。

Full Leader Board

RANK	PLAYER	SCORE	1R	2R	3R	4R	Total	RANK	PLAYER	SCORE	1R	2R	3R	4R	Total
1	申ジエ	-10	69	65	70	74	278	6T	ささきしょうこ	-3	74	67	73	71	285
2	ベイブ・リュウ	-8	72	73	64	71	280	6T	柏原 明日架	-3	73	71	70	71	285
3	イ ミニョン	-7	69	73	68	71	281	6T	岡山 絵里	-3	69	75	68	73	285
4	李 知姫	-5	71	68	72	72	283	6T	森田 理香子	-3	70	75	67	73	285
5	鈴木 愛	-4	73	70	68	73	284	10T	成田 美寿々	-2	68	75	70	73	286